

**（件名）蘇州市の旅行博覧会に北海道ブースを初出展**

蘇州市で開催された旅行をテーマとした博覧会に、北海道観光ブースを初めて出展しました。

<第4回大運河文化旅游博覧会>

- ・会期：2022年9月23日～25日（3日間）
- ・会場：蘇州国際博覧中心
- ・主催：江蘇省政府、蘇州市政府 他
- ・来場者数：約10万人

**1. 博覧会概要**

博覧会会場は、3つのエリアに分かれ、中国大運河の始点・浙江省杭州市から終点・北京市までの広大な地域を中心とした中国各都市が出展する「①国内都市エリア」、運河とシルクロードの邂逅をテーマに各国政府観光局などが出展する「②国際エリア」に加えて、近年中国で大ブームとなりつつある「③アウトドア・キャンプ展示エリア」が大きな注目を集めていました。

当事務所は、北海道日中友好協会と連携して、国際エリアに北海道ブースを出展しました。



アウトドア・キャンプ展示エリアの賑わい

2. 北海道ブースでのPR

北海道ブースでは、北海道観光、アイヌ文化の映像放映、パンフレットの配布を行ったほか、北海道産のお菓子やキュンちゃんグッズのプレゼントイベントを行いました。また、札幌市北京事務所（本年3月閉鎖）から引き継いだ札幌観光パンフを重点的に配布しました。

旅行をテーマとした博覧会であることから、来場者の北海道への関心が極めて高く、パンフや地図が次々と無くなっていきました。

来場者からは、訪日旅行に係る最新の規制などへの質問が目立ちました。日本から中国へ戻る際の隔離政策が現在も継続していることなどを説明し、近い将来の渡航可能時にぜひ北海道を訪問いただくようPRしました。

若いご夫婦からは、冬の北海道の旅行プランについて、根掘り葉掘り質問を受けました。



北海道ブースの賑わい

3. 展望等

中国国内では、まだまだ厳格なコロナ対策が継続しており、海外への観光旅行も事実上禁止されていますが、私の印象では、中国人の新型コロナウイルスへの恐れは、かなり弱まっているのではないかと感じます。現状の隔離等の行動制限には敏感だが、病気自体は以前ほど恐れておらず、往来が自由化した場合にすぐにでも日本を訪問したい人の数はそれなりに多いものと思われます。

これまで、北海道物産展や食品の博覧会でも、観光のPRを行ってきましたが、こうした会場では、道産食品ほどには大きな反応は得られませんでした。今回、観光をメインテーマとした博覧会で、来場者の北海道観光への関心の高さに触れ、ターゲットを絞ったPRの重要性を強く認識しました。

中国人の北海道旅行熱が決して冷めてはいないことを、改めて確認した3日間となりました。

蘇州市について

蘇州市（江蘇省）は、上海市の西に位置し、春秋戦国時代に「呉」の都が築かれるなど多彩な歴史を誇り、中国大運河や蘇州古典園林（9つの庭園の総称）など数多くの世界遺産を持ち、東洋のベニスとも称される観光都市です。

一方、常住人口は約1,240万人、中国都市別GDPランキング（2021年）で第6位に位置しており、経済都市としても注目を浴びています。